

産業厚生常任委員会資料

令和3年3月3日

産業振興部 農地整備課

目 次

- ・ 鳥獣被害の対策状況について

被害状況	……	P 1		
取組内容	……	P 2	～	6
実績から見る効果と検証	……	P 7	～	9
今後の課題	……	P 9		

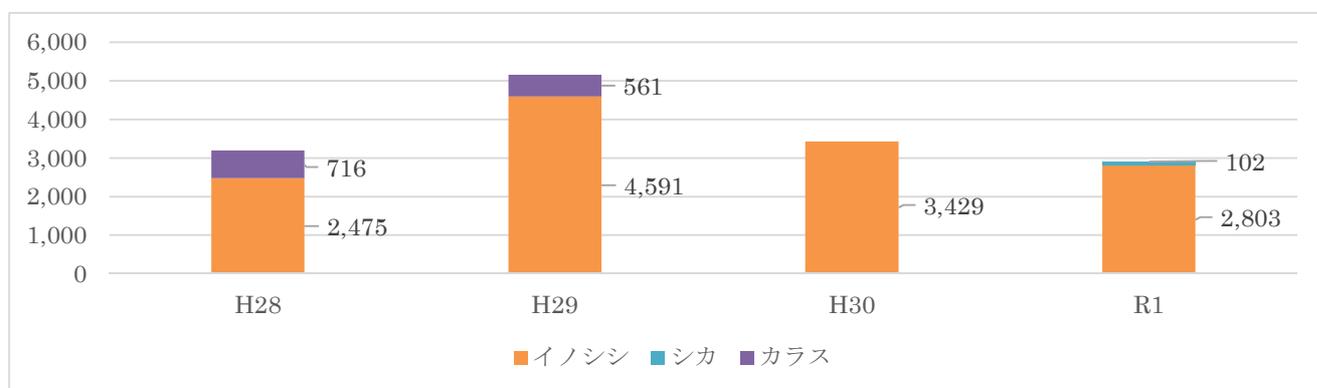
【被害状況】

- ・年度ごとの被害額

(単位：千円)

年 度	イノシシ	シカ	カラス	アライグマ	ヌートリア	合計
平成 28 年度	2,475	0	716	0	0	3,191
29	4,591	0	561	0	0	5,152
30	3,429	0	0	0	0	3,429
令和元年度	2,803	102	0	0	0	2,905

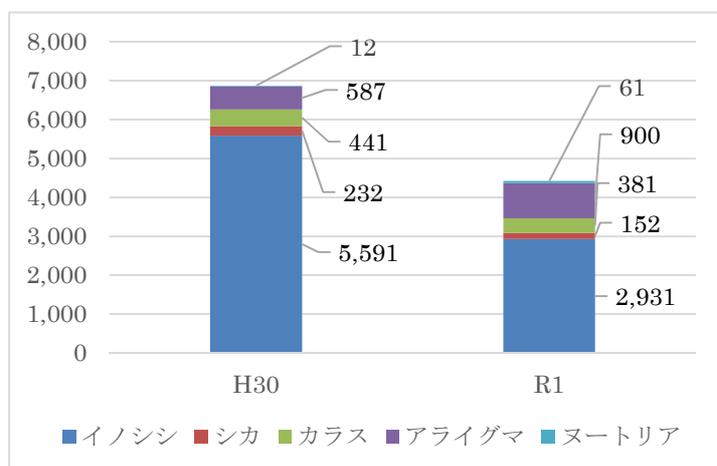
※被害額は農業共済被害報告額を基に算出



- ・農業共済被害報告額のほか、市が要望書等により把握した被害面積から算出した被害額

(単位：千円)

年 度	イノシシ	シカ	カラス	アライグマ	ヌートリア	合計
平成 30 年度	5,591	232	441	587	12	6,863
令和元年度	2,931	152	381	900	61	4,425



農作物の被害の様子

【取組内容】

- ・加害個体の捕獲（有害鳥獣捕獲）

	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	合計
イノシシ（頭）	22	20	30	27	28	22	149

- ・集落柵の整備（国の補助事業による獣害対策柵設置状況）

地区		前年度まで	R1年度	集落毎の計
		金網	金網	金網
1	畑	1,238m	0m	1,238m
2	下久米	990m	0m	990m
3	上三草	0m	200m	200m
4	下三草	750m	0m	750m
5	馬瀬	1,550m	0m	1,550m
6	牧野	2,495m	0m	2,495m
7	下鴨川	1,700m	1,865m	3,565m
8	平木	2,763m	1,000m	3,763m
9	光明寺	2,490m	942m	3,432m
10	上滝野	920m	440m	1,360m
11	河高	0m	540m	540m
12	高岡	1,572m	855m	2,427m
13	古家	1,089m	0m	1,089m
14	常田	743m	0m	743m
15	少分谷	1,850m	0m	1,850m
16	貞守	2,765m	0m	2,765m
17	長井	837m	0m	837m
18	岡本	2,181m	0m	2,181m
19	岩屋	0m	574m	574m
20	新定	1,320m	0m	1,320m
21	吉井	1,300m	0m	1,300m
22	小沢	1,122m	0m	1,122m
23	栄枝	0m	200m	200m
24	厚利	845m	0m	845m
25	松沢	1,460m	150m	1,610m
26	大畑	912m	500m	1,412m
27	蔵谷	1,565m	2,495m	4,060m
28	藪	1,422m	0m	1,422m
合計		35,879m	9,761m	45,640m

・特定外来生物の捕獲

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
アライグマ (頭)	268	197	324	165	275	284	1,513
ヌートリア (頭)	51	40	25	65	23	26	230

・鳥獣被害対策実施隊 活動

平成30年度

被害現場の確認 (イノシシ)	21回
被害現場の確認 (カラス)	1回
出没現場確認、周辺への注意喚起 (サル)	10回

令和元年度

被害現場の確認 (イノシシ)	34回
被害現場の確認 (シカ)	5回
被害現場の確認 (カラス)	1回
被害現場の確認 (アライグマ)	2回

令和2年度(令和3年1月末現在)

被害現場の確認 (イノシシ)	19回
被害現場の確認 (シカ)	5回
被害現場の確認 (カラス)	1回
被害現場の確認 (アライグマ)	4回
出没現場確認、周辺への注意喚起 (サル)	3回
出没現場確認 (その他)	5回

・啓発活動

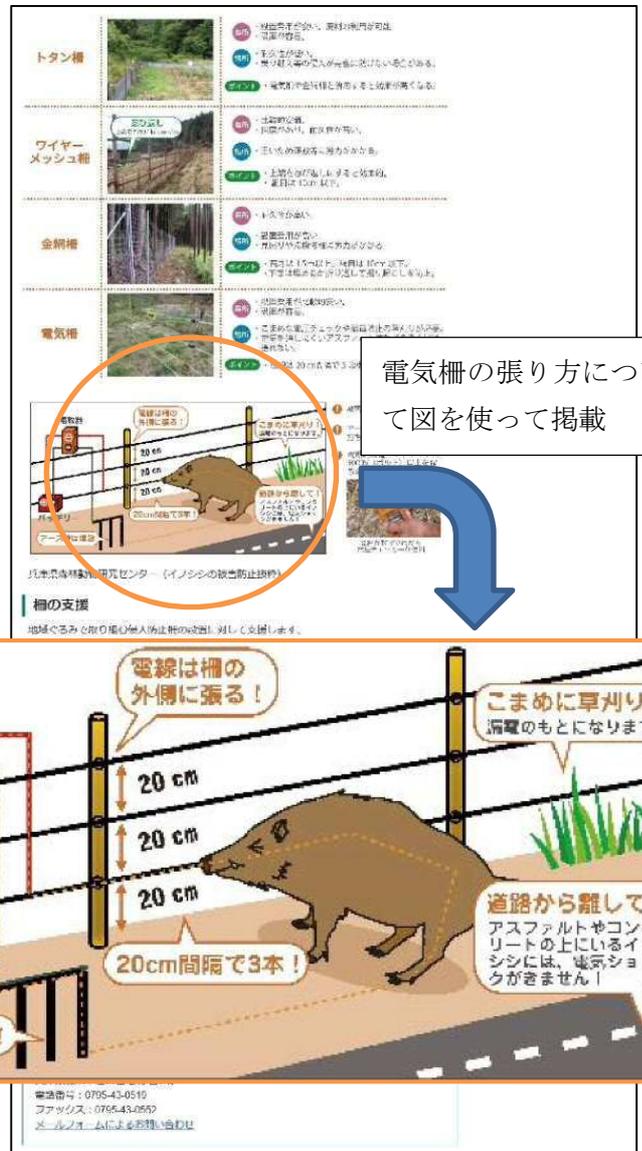
《獣害対策セミナー》

平成28年度「アライグマ・イノシシの生態と被害対策について」	参加者 130名
平成29年度「イノシシの生態と防護柵について」	参加者 77名
平成30年度「地域ぐるみの被害防止について」	参加者 63名
令和元年度「アライグマ等の効果的な防除対策について」	参加者 36名
令和2年度「イノシシの生態と集落ぐるみの防護柵の管理について」	

ケーブルテレビ企画番組(令和2年12月21日～23日)

《ホームページの充実》

有害鳥獣の生態や習性についての知識を深めていただき、自身で行う被害の予防や対策を促進するために、ホームページに情報を掲載している。



電気柵の張り方について図を使って掲載

イノシシの被害対策方法を掲載

被害の対策方法

- 1 イノシシを人里に誘引しない**
イノシシにとってエサとなるような農作物の収穫残さや廃棄果樹などを田畑の近くに放置することは、気づかないうちに餌付けをしていることと同じです。埋めるなどして、適切に処理しましょう。
- 2 出沒させない環境整備**
イノシシは、用心深い動物です。山と農地の間にある、からだを隠せるような茂みをなくすことで、農地への出沒を減らせます。
- 3 柵で囲って侵入防止**
金網柵や電気柵、トタン柵、ワイヤーマッシュ柵など、さまざまな柵があります。設置場所にあわせて、適切に設置しましょう。設置後の点検や補修も重要です。

《広報かとうの掲載》

鳥獣被害の対策として、市がどのような事業を行っているかご理解いただくために、広報に鳥獣被害対策の記事を掲載している。



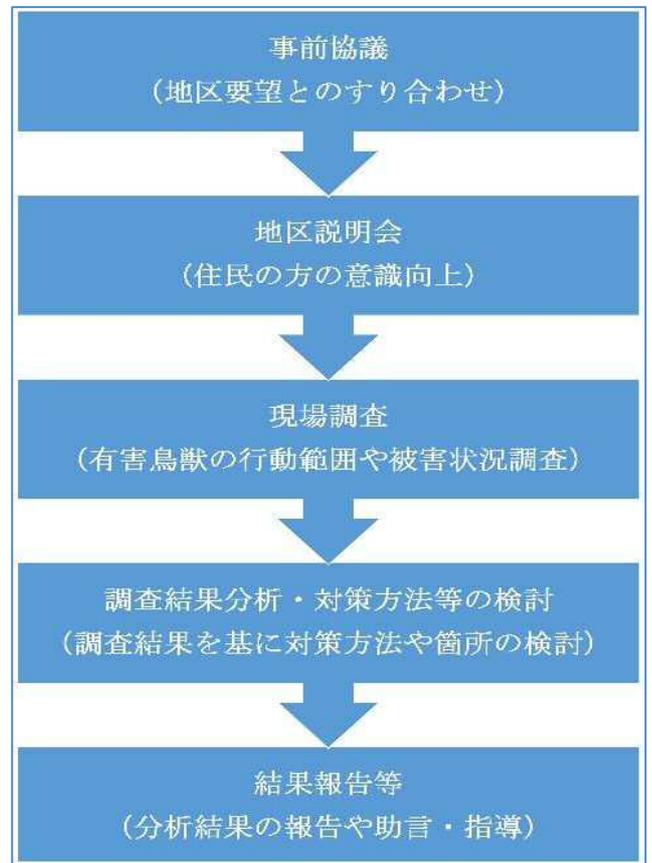
・新規事業（令和2年度開始）

《鳥獣対策サポーター派遣支援事業》

「鳥獣害で困っているが、その対策方法がわからない。」「もっと効果的な柵の設置方法はないだろうか。」という悩みを持つ地区に対して、鳥獣害対策に関する専門的な知識や技術をもった鳥獣対策サポーターを派遣し、現場調査や分析を行うことで、地区の獣害に対する悩みを解決する支援を行う。

令和2年度実施地区：2地区（池之内・大畑）

- ・地区勉強会
- ・電気柵の電圧チェック
（集落内の電気柵を総チェック）
- ・集落柵の総点検
（集落柵の張り方や破られている箇所
の点検・指導）
- ・センサーカメラ設置による被害状況の把握



《 獣害ベルト緊急整備事業 》

「山すそ」の藪や低木を伐採し、バッファゾーン（人と野生動物との緩衝帯となる場所）を整備する事業。たとえば、イノシシは狭い範囲に定着するため、柵が設置されていないなど、対策がされていない田畑に集中的に出没する傾向があるとされており、その対策として、イノシシが身を潜めることができる藪や低木を伐採することが効果的である。獣害ベルトは、集落柵の設置が困難な場所での対策につながるほか、集落柵と併せて整備することで、より効果的な対策となる。

令和2年度実施地区：2地区（馬瀬・大畑）



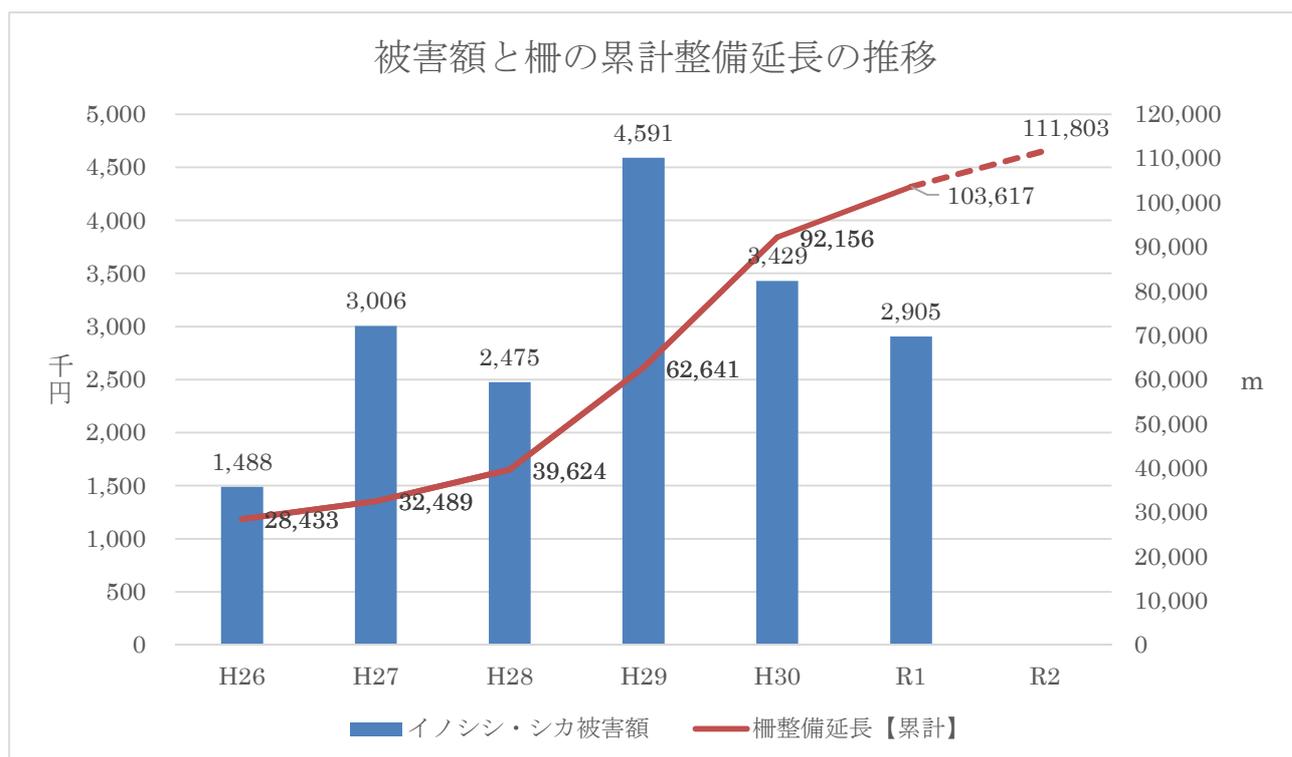
【実績から見る効果と検証】

①被害額と柵の累計整備延長

(単位:千円,m)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
イノシシ・シカ被害額	1,488	3,006	2,475	4,591	3,429	2,905	
柵整備延長【累計】	28,433	32,489	39,624	62,641	92,156	103,617	111,803
金網柵	13,549	14,265	15,817	30,617	35,879	45,640	49,646
ワイヤーメッシュ柵	1,575	1,575	2,825	7,952	9,386	9,386	10,039
電気柵	13,309	16,649	20,982	24,072	46,891	48,591	52,118

(予定)



被害額は H29 まで増加傾向が見られるが、H29 をピークに減少に転じている。
集落柵の延長は H26 から H28 まで微増で、H29 以降は大きく増加している。

<検証>

H29 に集落柵の延長が大きく増加した結果、H30 年度の被害額が減少しており、H30 年度以降も集落柵の延長の増に合わせて被害額が減少していることから、集落柵の設置が被害額の減少につながることは明確である。

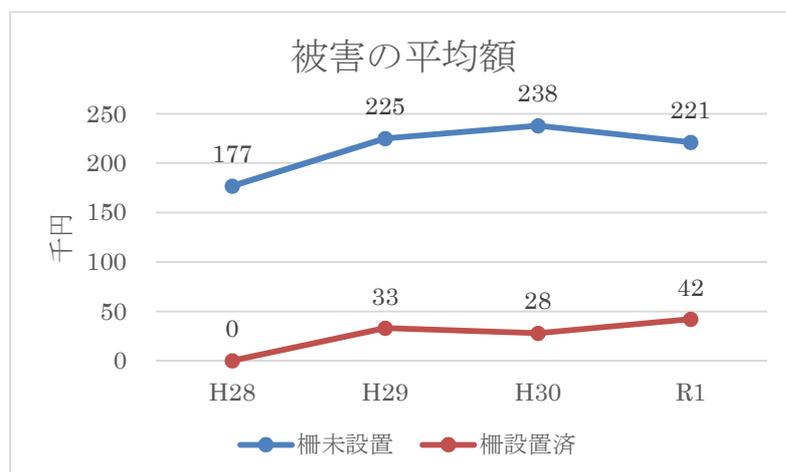
しかし、地理的条件や人的条件により柵の設置ができない地区や箇所があることや、設置後の柵が破られることで、今後も被害は一定量出てくることが想定できるため、獣害ベルト緊急整備を利用したバッファゾーンの整備などの集落柵以外の対策も今後必要である。

②地区別のイノシシ・シカ被害額と集落柵の整備状況

地区	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
	被害額(千円)	H27柵設置(m) 金網	被害額(千円)	H28柵設置(m) 金網	被害額(千円)	H29柵設置(m) 金網	被害額(千円)	H30柵設置(m) 金網
1 山国			81		128			
2 廻淵					186			
3 池之内					144			
4 上久米	138		972		199		267	
5 牧野	947				145	1,097	25	600
6 袴鹿谷					297			
7 西戸			159		197			
8 長井		716		121	26			
9 長谷	57				28			
10 黒石			402		253		113	
11 横谷	300		52		209		165	
12 岩屋			86		287			
13 新定	195		537		1,083		785	
14 吉井					57			1,300
15 大畑							227	912
16 蔵谷			200		106	1,565	530	
17 藪	172		472		84	1,422	224	
18 厚利	149					845		
19 嬉野	161		78					
20 黒谷	57							
21 下久米	127							
22 天神	23		17					
23 平木	34		52	806		957		1,000
24 古家	81							
25 森尾	34							
26 岡本			154					
27 久米			271				101	
28 栄枝			489					
29 貞守			48	625		2,140		
30 上三草							190	
31 下三草			158			750		
32 少分谷			41					550
33 曾我			124					
34 野村			124					
35 森			30					
36 依藤野			44					
37 松沢						1,460		
38 上鴨川							25	
39 下鴨川						1,700	12	
40 光明寺						1,272		
41 上滝野						920		
42 高岡						672		900
43 稲尾							25	
44 西戸							216	
合計	2,475	716	4,591	1,552	3,429	14,800	2,905	5,262

集落柵未設置地区・設置済地区の被害額と平均額

	H28		H29		H30		R1	
	柵未設置地区 (14地区)	柵設置地区 (1地区)	柵未設置地区 (20地区)	柵設置地区 (3地区)	柵未設置地区 (13地区)	柵設置地区 (12地区)	柵未設置地区 (12地区)	柵設置地区 (6地区)
被害額(千円)	2,475	0	4,491	100	3,094	335	2,653	252
平均額(千円)	177	0	225	33	238	28	221	42



(被害額/柵未設置地区数)

(被害額/柵設置地区数)

集落柵を設置して効果が出た地区数（集落柵を設置した地区で、前年度より被害額が減少した地区及び被害がなかった地区）

H 2 8	1 地区	（集落柵設置	1 地区）
H 2 9	1 地区	（集落柵設置	3 地区）
H 3 0	1 1 地区	（集落柵設置	1 2 地区）
R 1	5 地区	（集落柵設置	6 地区）

< 検証 >

集落柵を設置した地区の多くで、被害額の減少が見られる。また、被害の平均額についても、集落柵を未設置の地区に対して設置済の地区は極めて少額であることから集落柵の被害軽減効果は高い。

しかし、集落柵設置後の翌年や翌々年に被害が出ている地区があり、集落柵が破られて被害が出ているか、集落柵を避けて別の箇所で被害が出ていることが推測されるため、維持管理の徹底と柵の設置方法や設置箇所の再検討が必要な地区もあると考える。

【今後の課題】

- ・ 獣害対策は実施してから効果が出るまでに時間を要するため、長期的な視点で継続的に効果の検証を行う必要がある。
- ・ 集落柵の整備延長の増加や設置済の集落柵を維持管理ができる地域の体制づくりの支援
- ・ 集落柵の設置できない地区に対する支援の促進
- ・ 増加しつつあるシカ被害防止に向けた対策